



山田こうじです！

2018年11月4日

NO.200

事務所：西院下花田町9-25

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

京都市宿泊税実施でトラブル続発



宿泊税なんて聞いてない 払いたくない

10月1日から京都市が導入した宿泊税で、トラブルが発生しています。すでに実施している、東京都や大阪府の宿泊税は、宿泊料金が1万円未満の場合にはかからない制度。ところが京都では、全国で初めて、民泊やゲストハウスを含むすべての宿泊施設を課税対象にしたため、「宿泊税なんて聞いていない」「払いたくない」等のトラブルが発生しています。

検討段階での「違法民泊など、すべての宿泊者を捕まえるのは困難」「低料金の宿泊施設では、宿泊者への宿泊税の転嫁はできず、自腹を切らなければならぬ」との指摘が、現実のもの

のなっています。旅館業界からは、宿泊税など新たに「旅行者に負担を求めることは断固反対」としつつ、「観光振興という目的に限って使うのであれば協力する」と表明したうえで、「免税点を設けると、違法民泊を野放しにすることになる」と、免税点を設けない事、宿泊税を活用し「違法民泊の撲滅を」と、求められていました。そのいずれもが曖昧なまま拙速な実施したことトラブルとなつています。

金沢市学習会 宿泊税を考える

金沢市でも、来年4月から宿泊税が実施されようとしています。金沢市の条例は京都市をモデルにしたもので、全ての宿泊施設を対象にしています。

京都市での導入の経過と現状について話してほしいと、「宿泊税を考える」学習会の講師の要請を受けて、加藤議員と金沢に行ってきました。

金沢市では、実施前ですが、宿泊事業者や、地域住民、商店街から「街をまもれ」との声が上がり、宿泊事業者も、電話でのアンケート

ト調査を行うなど、反対の声が高くなってきているそうです。京都では、実施されましたが、6項目の付帯決議が付き、1年半後の見直しを求めています。京都でも、金沢でも、宿泊税ありきで、零細事業者の営業を脅かし、「受益と負担」などと、観光客のおもてなしに逆行し、旅行者とのトラブルを引き起こす、宿泊税ではなく、観光消費が、地域に循環するような経済政策への転換こそ必要です。

観光客抑制へ！

外国人観光客が増加するなか、京都の観光満足度が低下し、日本人観光客が減少しています。

市民生活にも大きな影響が出ています。観光客の増大により、東大路通、堀川通、西大路通では「市民なのに市バスに乗れない」状況です。バスの増便も限界

第162回 暮らしのなんでも相談会

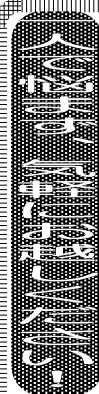
暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康
保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。
秘密厳守・相談無料です。お気軽にお越しください。

11月10日(土) 午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所

佐々木 義人 801-9379



となり、地下鉄への誘導も追い付いていません。

このような状況にも関わらず「ホテルはまだ足りぬ」と誘致継続を門川市長は表明しました。

金沢に来る外国人観光客は「京都は人が多すぎる」京都を避けていると話されていきました。

いよいよ、日本人だけでなく外国人観光客からも敬遠される事態です。

「住んでよし」のまちでこそ「訪れてよし」ではないでしょうか。観光客誘致から、抑制への転換を！

「田」に「ご」であ！

母の思い出⑭

No. 194

金沢に出張に行く道中、幼いころお袋の故郷、富山へ行った時のことを思い出していました。

お袋の母方は、富山県のかのりの田舎で、確か、地名は「へいだ」と言っていたように思います。

当時の北陸本線はまだ電化もされておらず、蒸気機関車の鈍行列車でした。満員列車の長旅で、多分、北陸トンネルだったと思いますが、本当に長いトンネルで、窓を閉め切っている、さすが隙間から入ってきて、すすだらけでした。

「へいだ」着いたら「ちびたいい水、一杯くったはれ」と、お水と、子どもだった私や妹に、お砂糖をまぶしたゆで卵を、腰が曲がり、しわくちゃの顔をした、優しいようなおばあちゃんが出てくれたことを、独特の方言とともに、甘いゆで卵を思い出します。

写真は、家族での旅行の写真かな？

